

# SunSystems 5

製品概要



# 目次

1 はじめに

## SunSystem 5 の機能

2 柔軟なデータ抽出・分析能力

4 情報管理

6 優れたプロセス マッピングおよび制御機能

8 統合

10 グローバル ビジネスのサポート

12 グローバル ソリューション、ローカル サポート

## SunSystem 5 の概要

14 The Foundation (基礎)

15 Financials (会計管理)

16 Sales order management (受注管理)

17 Purchase management (購買管理)

18 Inventory management (在庫管理)





# SunSystems 5

## ビジョンを現実化するソフトウェア

現在、世界 180 ヶ国 18,000 社の企業が、それぞれのビジネス レポーティングおよび会計に対するグローバル/ローカル両方のニーズを SunSystems によって管理しています。27 ヶ国語のサポート、ローカルサポート、そして変化するビジネス環境や法的要件に対応する真にユニークな柔軟性を提供する SunSystems は、柔軟なビジネスプロセスと会計プロセスの緊密な統合を求める企業へ最良のソリューションを提供します。

### グローバルな機能

今日のグローバル マーケットでは、国や企業の壁を越えたグローバルソリューションが求められます。

SunSystems 5 は、複数の通貨が伴うビジネス プロセスをサポートしています。すべての取引は、基本通貨、取引通貨、レポーティング通貨または 2 元基本通貨で管理することができます。また 27 ヶ国語をサポートしている SunSystems 5 は、世界中のビジネスで使われている言葉をサポートします。

### 容易な統合

SunSystems 5 によって、ビジネス全体を通じてコア システムを統合し、幅広い範囲を網羅したバリューチェーンを構築することが可能になります。使いやすいインターフェースおよびお客様の共有プロセスを通じ、SunSystems 5 は生産性を高めると同時にお客様のオープンなビジネスプロセスをサポートします。

### 優れた柔軟性

SunSystems 5 のユニークなストラクチャは、組織全体を通じた変更を可能にする優れた柔軟性を提供します。組織規模の拡大、企業の吸収・合併、複数レベルの連結、新たなレポーティング プロセス、技術環境の変化 - SunSystems 5 は、このような変化に伴う課題を歓迎します。

### 取引の分析

SunSystems 5 によって、ビジネスのすべてを把握することが可能になります。顧客、マーケット、製品、ビジネス ラインなど SunSystems 5 は、ビジネスを管理しているマネージャの皆様へビジネスのあらゆる局面におけるユニークな視点を提供します。すべての取引を多次元レベルで容易に把握できるため、これまでにない容易さでビジネス リスクやビジネス チャンスを明らかにすることが可能になります。

### ボトルネックを排除

業務手順によっては、ビジネスの進行を引き戻してしまうプロセスも存在します。SunSystems 5 では、ユーザーを中心においたプロセスを定義しルーチンを自動化することで、すべてのアクティビティを合理化することができます。明確なパラメータを設定することによって、ビジネスプロセス全体は SunSystems 5 が管理し、従業員 1 人 1 人は付加価値業務に重点を置いた管理をすることが可能になります。

### 情報の配布

情報がその価値を発揮するためには、アクセスが容易であると同時に適切な意味を提供できなければなりません。SunSystems 5 には高度な機能を有したレポート ジェネレータとレポート ライブラリが用意されているので、印刷、HTML ファイル、テキスト ファイルなどを通じてオンデマンドで情報を配布することができます。これによって、社内のユーザーおよび社外の取引先の両方を通じ、タイムリーかつ正確で分かりやすい豊富なデータを柔軟に提供することが可能になります。

それでは、さまざまな視点からビジネスを考える必要のある世界中の企業が最良のソリューションとして利用している SunSystems 5 の機能をご覧ください。



## 柔軟なデータ抽出・分析能力

- いつ、誰が、どこで、何を、どのように

SunSystems 5 は、非常に細かい点まで綿密に会計情報を分析する能力を提供することで、マネージャの皆様が組織を管理することを可能にします。ここで重要なのが、あらかじめデータ間の関係を定義する必要なしに企業活動のさまざまな要素を反映させられる点です。すなわち、SunSystems 5 は分析対象となる各要素の時間の経過に伴う変化も柔軟にサポートするのです。結果として、SunSystems 5 は導入に伴う複雑さを排除しながらも他に類を見ない柔軟性を提供します。

### 特長

1. 取り込んだ情報は、リアルタイムであらゆる場所のあらゆるビジネスで活用することが可能
2. 時間の経過に伴うさまざまな変化へも容易に適応させることが可能
  - スケールアップ - およびスケールアップに伴う組織的レポーティングに求められる複雑さの変化
  - 範囲 - 分析の変更を求められる業務活動など
  - 子会社の吸収や売却など
  - レポーティング/業務の構造変化

多次元分析機能を通じ、SunSystems 5 はこれらの柔軟性を提供します。

### SunSystems 5 はどのようにこれらを実現しているのか？

システム内である取引が生成されると、各種分析コードが付与されます。これらのコードはユーザー定義が可能で、たとえば営業担当者、製品、プロジェクト コードなど各取引に固有の要素と、業種、クラス、地域などの静的な分析要素の両方を網羅しています。

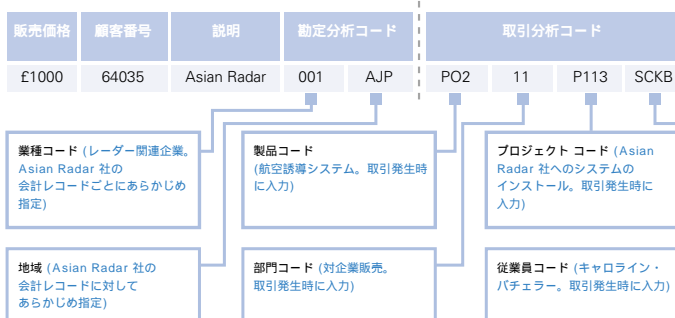
各取引について（受注オーダ、購買請求書、在庫移動、会計伝票など）ユーザーは 10 種類の勘定分析コードと 10 種類の取引分析コードを定義できます。

SunSystems 5 の優れた柔軟性に対する評価の基礎となっているのが、これらの要素の生成方法と利用方法です。各要素は他の要素や顧客、仕入先、損益計算書、貸借対照表などの会計レコード設定とは分けて個別に作成しメンテナンスすることが可能で、指定の取引プロセスを通じて複数の要素をリンクさせます。また、これらの要素を導入時に定義する必要はありません - システムの成長に合わせ、随時追加していくことができます。

### 取引サンプル

営業部門に籍を置くキャロライン・パチェラーは、Asian Radar 社という顧客へ航空誘導システム ソフトウェアを 1,000 ポンドで販売しました。

ここで使っているのは、10 種類の勘定分析コードのうちの 2 つおよび 10 種類の取引分析コードのうちの 4 つだけです。



販売価格	顧客番号	説明	業種	地域	製品	部門	プロジェクト	従業員
1000	64035	Asian Radar	001	AJP	PO2	11	P113	SCKB
2000	64035	Asian Radar	001	AJP	PO3	11	P111	SCKB
3500	64046	Madrid Maritime	009	ESP	PO2	11	P003	SCDM
450	37410	Travel & Accom.	-	-	-	32	P113	ADST
300	22000	販売原価 (サービス)	-	-	-	32	P113	ADST

## SunSystems 5 の分析能力

数々の取引が生成された後、システムは会計データベースを構築します。  
(上記表)

会計データベースが作成されると、SunSystems 5 のレポート管理機能はビジネスの各要素間の適切な関係を柔軟に選択することでレポートを実行します。

このように情報を格納すると同時にユーザーが思った通りのレポートを可能にする能力を提供することで、これらの会計データは組織全体を通じた意思決定を支援する基礎となります。

たとえば、次のような問いに対する答えを求めることができます。

- 「過去 3 ヶ月間、法人販売部門のアジアにおけるレーダー ソフトの販売による収益は？」  
また、
- 「ある輸送業者を使って台湾からレーダー設備を出荷した場合のコストは？」 - SunSystems 5 によって、これらの問いに対する答えを簡単に手にすることができます。

## 連結レポート/地域別レポート

上記のような会計データベースを通じたアプローチによって、データに対する数多くのビューを作成することが可能になります。

これは、ビジネスを展開している国別に勘定科目表を作成し管理できることを意味しています。

これによって、グローバルな管理レポート構造を確立すると同時に、国ごとに異なる法的要件に合わせることが可能になるのです。また、ある組織のデータベースから別の組織のデータベースへ連の分析要素をマッピング/グループ化することで、複数レベルにわたる連結処理を行うこともできます。

たとえば、あるグローバル企業のフランス オフィスであれば政府の定めた「プラン コンタブル」(Plan Comptable: フランスの会計原則)にしたがった勘定科目表を使用しなければなりません、これとは別にまったく異なる形式でローカル管理用の勘定科目体系を使わなければならない場合もあります。SunSystems 5 はこのような環境をサポートしていると共に、ローカル/グローバル両方の観点からの連結レポートを作成することができます。

## 特長 - まとめ

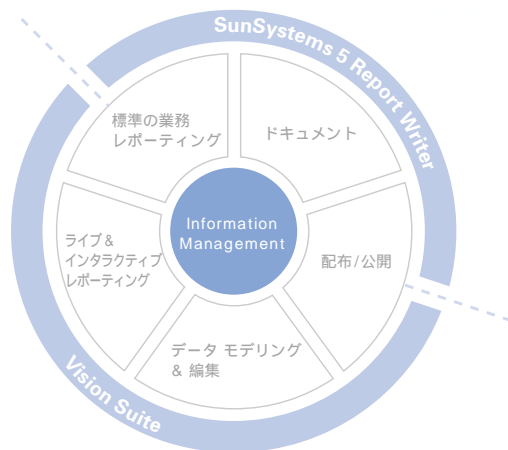
SunSystems 5 の分析能力の特長をまとめると -

- データ抽出における柔軟性 - あらゆるタイプの組織、地域をサポート
- 多くの要素 - 組織の変化やレポートに対する新たなニーズに合わせ、各要素にコードを追加することが可能
- 多様な連結定義 - 異なるレポート構造や会計期間の各地域や子会社を、組織全体としての 1 つのビューに連結/統合



## 情報管理

情報管理スイートは 2 つのコンポーネント  
- SunSystems 5 Report Writer および  
Vision Suite で構成されています。



### SunSystems 5 Report Writer

標準の業務レポート(たとえば未収取引先など)に加え、請求書や財務諸表などのドキュメントをサポートする SunSystems 5 Report Writer。

HTML、XML、PDF などさまざまな形式でドキュメントやレポートを公開することもできます。

### Vision Suite

Vision Suite は、ライブデータへのアクセスを通じたビジネス インテリジェンス機能と共に、集計レベルから明細レベルへのドリルダウン機能もサポートしています。さらに、SunSystems 5 と Microsoft Excel との動的なリンク機能も用意されています。

### The SunSystems 5 Report Writer

SunSystems 5 Report Writer はオブジェクト指向のレポートングテクノロジーを提供することで、情報の定義とデザインをサポートすると共に、従業員、顧客、仕入先などへの情報の配布を可能にします。

#### レポートの構築とデザイン

グラフィカルなドラッグ&ドロップ インターフェースを通じ、レポートは簡単に作成することができます。また Report Data Library Builder では、レポートのデザインに必要なコンポーネントのデータ ライブラリを作成することができます。これらのコンポーネントにはデータ フィールドだけでなく、それぞれのラベルも含まれています。

Report Designer によって各ユーザーはそれぞれのニーズに合わせたレポートを定義できると共に、パワフルかつグラフィカルな書式設定機能を通じて視覚的効果を高めることが可能になります。レポートはゼロから作成することも、または SunSystems 5 に用意されている標準のテンプレートをベースに作成することもできます。

各データ アイテムには、条件的な書式設定を定義すること(60 日を経過したすべてのアイテムを赤字で出力するなど)もできます。

さらに、これらのレポート デザイン機能には必要に応じてレポートを多言語モードで実行する機能も用意されています。

## レポートの公開/配布

レポートの生成にはいくつかの方法があります。

- マニュアル - Report Manager でレポートを閲覧/選択するか、Navigation Manager で各ユーザー独自のメニューから直接レポートへアクセスできます。
- 自動 - たとえば減価償却の計算や小切手の出力などのプロセスから自動的にレポート生成を開始させることができます。

## 公開形式

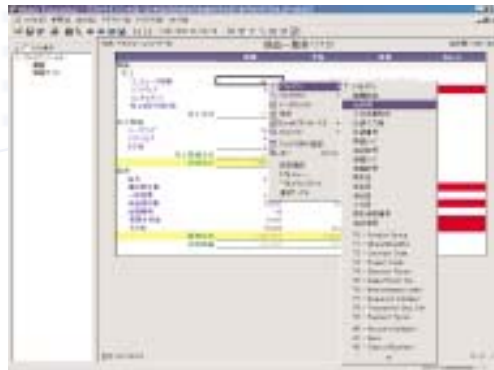
レポートを実行したら、作成されたレポートは印刷やファイルへの保存、画面上での閲覧をすることができます。また、フィルタリング機能を使ってレポートを検索し、その結果を保存することにより後で必要に応じて再利用することも可能です。Report Manager では XML、PDF、HTML などの形式でレポートを公開することもできます。これによって、作成したレポートを他の従業員や顧客、仕入先へ電子メールで送信したり、インターネット上に公開することができます。

## ブラウザからインターネットを通じてレポートへアクセス

Report Web Server によって、ユーザーはインターネットを通じてブラウザからレポートを生成したり閲覧することができます。Report Web Server は各企業の Web サイトとの完全な統合を実現するだけでなく、Report Manager のすべての機能を標準の Web ブラウザを通じて提供します。これによって、リモートのオフィスやホテル、自宅からでも、ローカルでレポート全体をダウンロードする必要なしに既存のレポートを閲覧したり新規レポートを実行することができます。

## Vision Enterprise Suite

SunSystems の多次元分析能力は、データを収集/構造化することによりさらに詳細な分析を行うための理想的なエンジンです。Vision Enterprise Suite はこのデータ構造の大部分を実行してくれると同時に、隠されているトレンドや問題点、ビジネスチャンスなどを明らかにし分析することで、企業の競争力をさらに高めるための支援を提供します。



## ドリルダウン検索

Vision では、ライブ データに対するアドホックな検索を実行すると共に、ドリルダウン、エクスパンド、ブレイクアウト、データ マトリックスなどの機能を使ってさらに詳細にデータを分析することができます。この機能は SunSystems に格納されているデータだけでなく、外部ソースからのデータと組み合わせることも可能です。

## Microsoft Excel との動的なリンク

Vision は Microsoft Excel データおよび SunSystems データの動的なリンクを提供します。これによって、SunSystems と Microsoft Excel の間でデータのインポート/エクスポートを実行することができます。また Budget Management モジュールもこの機能によって組織全体を通じた予算/予測の連結および管理をサポートしています。

## Web 上での編集と閲覧

Vision および SunSystems 5 Report Writer では、レポートをイベント基準で生成したりレポートの実行をスケジューリングすることができます。生成されたレポートは、HTML 形式で Web に公開できます。また、Alert モジュールにより電子メールを通じて自動的に送信されます。



## 優れたプロセス マッピングおよび制御能力

業務プロセスをコスト効率良く管理することは、飛行機の操縦と同じくらい難しいと思われることもあります。常に監視しなければならない対象が数多くあると同時に、どちらの場合も非常に高い集中力を求められます。このように、実際の操作は異なりますが似通った部分も数多くあります。

コスト、ビジネスチャンス、リスクなどの基本原則によって常に変化している環境において業務プロセスを管理することはビジネスに不可欠な要素です。また、ビジネスにおける基本的なプロセスをモニタリングすると共に、例外的状況へも即応することを可能にするツールを手にする必要があります。

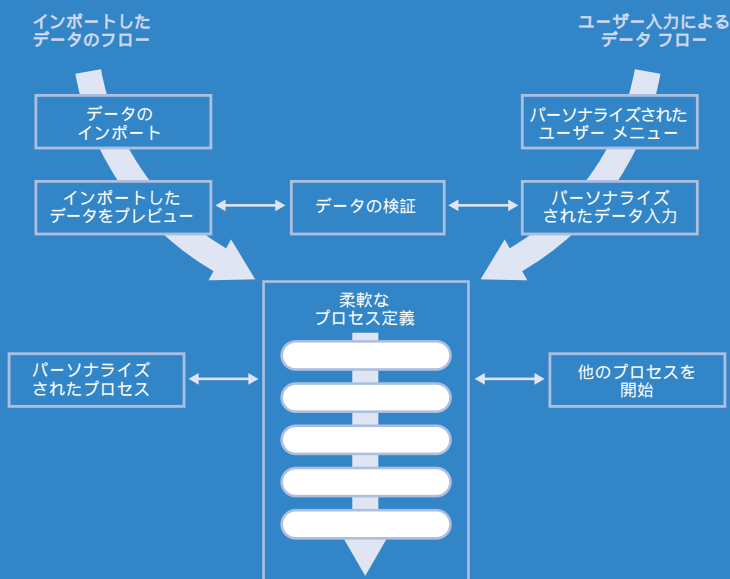
### 柔軟なマッピング

SunSystems 5 の業務プロセス機能は、ユーザーが完全に制御することを可能にする優れた柔軟性を有しています。SunSystems 5 のプロセスの各ステップは、ユーザーが指定した業務プロセスへ柔軟性をもって直接マッピングすることができます。

したがって、ソフトウェアによって課せられる制約に合わせて操作上の柔軟性が損なわれるようなことは一切ありません。

このように、SunSystems 5 はユーザーが指定した処理方法へマッピングするだけでなく、ビジネスに伴う例外的な状況も考慮します。たとえば新しい顧客からの急を要する発注など新たなビジネスチャンスが発生した場合でも、SunSystems 5 はこのような状況へ即応し、ビジネスのながれを遅滞させることはありません。このように、SunSystems 5 では例外状況を処理できるだけでなく、バックグラウンドでは統制の取れた管理を行いながら通常のプロセスに伴う手順をバイパスすることができるのです。

各企業の業務プロセスは、データ入力（他システムからのインポートやユーザーによる入力）、検証、業務プロセスの管理をいかに適切に処理できるかという点に大きく依存しています。またビジネスルールをトリガとして他のプロセスを開始したり必要なアプリケーションを起動すること（例えば、ある顧客から大量の発注があった場合の電子メールによるアラートなど）もできます。





## SunSystems 5 - アプリケーション プロセス ツール セット

SunSystems 5 には、処理機能を管理するためのツールセットが用意されています。

### プロセス マネージャ - 標準プロセスの確実な検証と自動化

SunSystems 5 に標準装備されているプロセス マネージャは、次の機能を提供します。

- データの検証を管理。これによって、定義した条件やビジネスルールに基づいてあらゆるタイプのデータ アイテムに対する複雑な検証をサポート
- 内部/外部両方のプロセスを自動的に開始
- SunSystems 5 内部/外部両方のデータ転送メカニズム（データプレビュー機能）

### Navigation Manager - パersonナライズされたユーザー メニュー

SunSystems 5 のフォームや機能へのアクセスを管理する Navigation Manager は、次の機能を提供します。

- 1 回のログオンにつき複数の並行プロセスを同時に実行（最大 9 プロセス）
- ユーザー定義可能なメニュー ツリー、用語、コンテンツ  
これによって、ユーザーはパーソナライズされた内容に基づいてプロセスを識別することが可能
- 他の実行可能プログラムへのアクセス

### フォーム デザイナー - パersonナライズされたデータ入力をサポート

SunSystems 5 はフォームに基づいたデータ入力をサポートしており、単一レコードのビューや複数レコードで構成されているグリッドに基づいたビュー、またはこれらの両方を組み合わせたフォームを提供します。これらのフォームはタブ シートやコンボボックス、ラジオ ボタン、チェック ボックスなど、Microsoft Windows のコントロールおよび機能をすべてサポートしています。

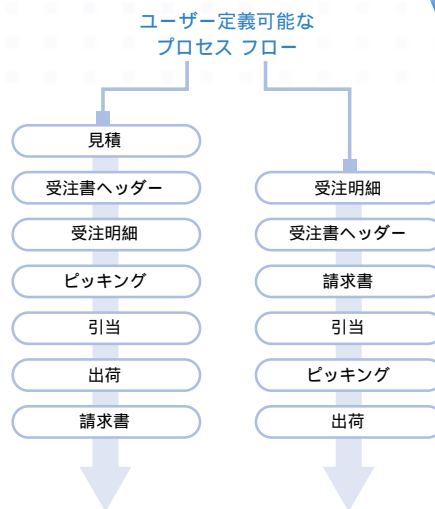
SunSystems 5 に標準装備されているフォーム デザイナーは、次の機能を提供します。

- ユーザー個々の業務内容に合わせて独自のフォームをデザイン
- ユーザー独自のヘルプ テキストを作成/メンテナンス
- アップグレード後も同じ環境を提供できるように、デザインおよびヘルプ テキストを個別に管理

## プロセス定義

各モジュールが提供するこれらの詳細な機能に加え、新しいサプライチェーン スイートも各機能コンポーネントのプロセスマッピングをサポートする柔軟性を提供します。

これらはすべて各企業に固有のプロセスへ正確に合わせるために、事実上あらゆる組み合わせでリンクさせることができます。場合によっては、従来の処理順序を完全に変えること（製品の出荷前に請求/入金処理を行うなど）も可能です。



## コントロール デスク - パersonナライズされたプロセス コントロール

SunSystems 5 に内蔵されているコントロール デスクは、指定されたデータセット（顧客のデータセットなど）の取引のながれに対するパーソナライズされたビューを提供します。自己定義型のコントロールデスクでは、取引の検索やドリルダウン、また業務プロセスの中で取引を次の処理に進めます。（出荷確認から請求書印刷への移動など）

この機能によって、従業員の皆様はエンド・トゥ・エンドで各プロセスを所有できると共に、カスタマイズされたカスタマー サービスを提供することが可能になります。



## 統合

# SunSystems Connect – SunSystems 5 と 外部アプリケーションを統合

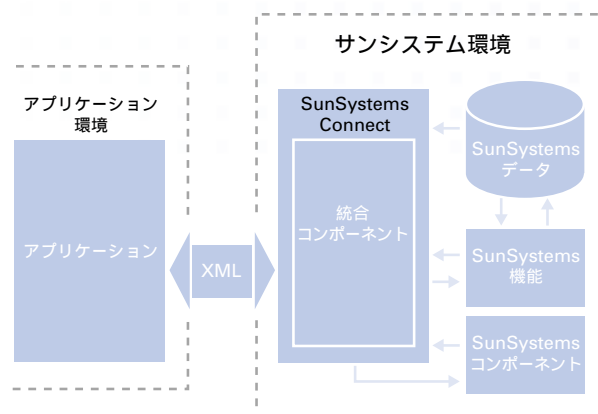
SunSystems Connect は外部アプリケーションとの統合を可能にするオープンな統合ツールセットで、Web アプリケーションをはじめあらゆるタイプのアプリケーションが SunSystems 5 のデータへアクセスし、リアルタイムのビジネス取引を実現できるようにデザインされています。

Java™ によって開発されている

SunSystems Connect は外部の世界へ一連のコンポーネントを公開し、これらのコンポーネントへ XML メッセージを通じてアクセスすることができます。

したがって、業界標準の XML で読み取り/書き込みができるアプリケーションであれば、すべて SunSystems 5 のデータ機能やアプリケーション コンポーネントへアクセスすることができます。各外部アプリケーションは次のことを実行できます。

1. データ検索のためのマスターファイルへ直接アクセスを通じた参照情報へのアクセス
2. e-コマース アプリケーションなどで生成された受注オーダのデータを SunSystems へ転送し、SunSystems 5 で処理
3. SunSystems 5 内の指定のアプリケーション プロセスへのアクセス ( SunSystems 5 の価格設定メカニズムを利用する e-コマース販売管理システムなど )



## ベネフィット

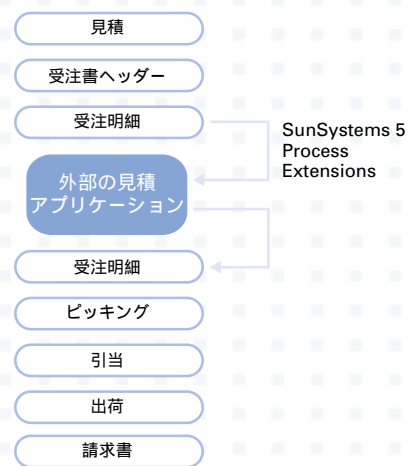
- SunSystems 5 の統合能力によって、ローカル/リモートを問わず SunSystems 5 へのリアルタイム アクセスが必要な Web アプリケーションを構築することが可能
- 他のアプリケーション環境内から SunSystems の機能や論理コンポーネントを実行することが可能  
SunSystems 5 で定義したビジネス ルールやビジネス ロジックは外部アプリケーションに複製不要
- 企業間の統合を可能にする業界標準メカニズムである XML を通じ、SunSystems Connect は仕入先や顧客とのデータ/プロセスを共有するプラットフォームを提供
- SunSystems Connect によって公開されているインターフェースを使用し、機能を開発することにより、将来的な変更によるコスト削減の実現可能

## SunSystems 5 Process Extensions - SunSystems 5

### の内部プロセスを外部アプリケーションと統合

SunSystems Connect によって外部アプリケーションは SunSystems 5 のデータを利用したり読み出すことができますが、必要に応じて SunSystems 5 の内部プロセスと外部アプリケーションを統合することも可能です。たとえば、個々に製品が指定された受注処理を完了する際に、SunSystems 5 内のオーダ処理ルーチンで外部の見積システムから既存の見積情報を読み出す場合などが考えられます。

この販売プロセスを示したのが右上の例で、使用する SunSystems 5 のビジネス コンポーネントおよび外部の見積アプリケーションをどのようにリアルタイムに統合するのかを示しています。



SunSystems 5 Process Extension は公開されている API (Application Programming Interface) で、これらをプロセス管理機能と共に使うことで、あらゆるタイプの外部アプリケーションを SunSystems 5 の環境内から起動することができます。したがって、SunSystems 5 プロセス シーケンスの中の指定されたどの時点でも、外部のアプリケーションを呼び出して起動することが可能です。

## まとめ

SunSystems 5 はほとんどの受発注処理プロセスに対するバックボーンを提供しますが、ある処理に特化した外部アプリケーションをこれらのプロセスと統合しなければならない状況も考えられます。このような場面で SunSystems Connect および SunSystems 5 API を活用することによって、SunSystems 5 内のプロセスをさまざまな外部アプリケーションや顧客/仕入先のプロセスと統合することができます。



## グローバル ビジネスのサポート

### 視野はグローバルに、実行はローカルで

SunSystems は、すべての国をサポートできる柔軟性と適応性を提供するというコンセプトに基づいてデザイン/構築されています。これは、たとえば通貨や税制などの分野においても単位、レート、内容などをハードコード化する必要性を排除することを意味しています。SunSystems では、これらはすべて各国でのセットアップの一部としてパラメータによって定義されます。また SunSystems にはグローバル/国別の両方を通じて幅広い範囲の法的要件が定義されているため、これらの要件をローカルで定義する必要がないと同時に迅速なグローバル展開を可能にしています。

### 世界のどこでも同じ製品を使用

SunSystems に特定の国に特化したバージョンはありません。世界のどこで SunSystems を利用していても、お客様が使用しているのは同じソリューションなのです。単一のコードという開発哲学、通貨、言語、法的課題 - これらのすべてを、統合された 1 つのコア ソリューションがサポートします。これは同時に、コア システムの構築が多国への展開をも迅速に実現できることを意味します。さらに、アップグレードおよびバージョン管理もすべての国を通じて同じバージョンを使用するようにメンテナンスすることができます。

世界中の子会社からの情報も、それぞれが使っている言語や技術的基盤に関係なく統合することができます。

### 多言語の対応は? - 27ヶ国語

世界 187ヶ国に展開している企業の 1社であっても、またグローバル展開を考えている企業であっても問題ありません - SunSystems は世界 27ヶ国語、各国語による画面とトレーニングを提供しています。お客様の場所に関係なく、SunSystems は世界中で一貫したソリューションを提供しているのです。

サポートしているすべての言語に加え(ダブルバイト文字やアラビア語など右から左へ記述する言語を含む) SunSystems は1導入環境内における複数言語のサポートも提供します。

したがって、単一の導入環境において異なる言語を使っている数多くのユーザーもそれぞれの母国語でサポートすることができます。

### グローバルなサービス ネットワーク

SunSystems のソリューションは、世界 200ヶ所を超えるオフィスおよびパートナー各社で構成されているグローバル ネットワークがサポートしています。どの国に SunSystems が導入されているのに関係なく常に一貫したサービスとスタンダードをお客様へ提供できるようにするため、すべてのサポートは全世界共通の標準化された導入手順に基づいています。

### 多通貨対応機能

世界中のオフィスから中央の本社へ各国間の取引情報およびレポートを集約しなければならない環境も、SunSystems 5 は多通貨処理を管理する能力を提供します。この多通貨対応機能は標準機能として装備されており、必要に応じて SunSystems 5 のすべての導入環境に展開することが可能です。また、多通貨対応機能は SunSystems 5 のすべてのモジュールで完全に統合されているだけでなく、真の 2元基本通貨処理もサポートしています。このパワフルな能力によって、お客様は 3種類の通貨を並行利用して製品やサービスの購入、在庫、販売、会計処理を行い、海外の親会社へ指定の通貨で報告することができます。

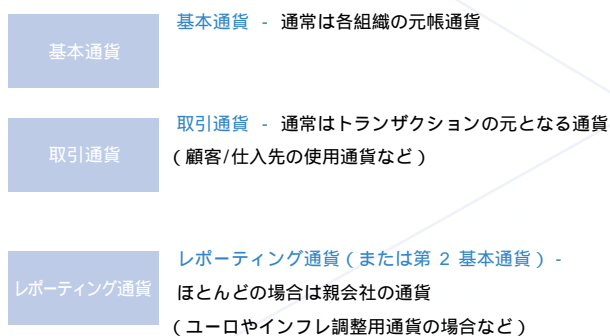
**通貨リスクの分散** - ある子会社が自国通貨とは別の通貨で親会社へ報告する場合、ローカルの為替変動は子会社側で吸収させることができます。また子会社との連結時に、親会社は各国の帳簿通貨とレポート通貨間の差異を吸収することができます。

**GAAP (米国会計原則) に基づいた報告** - すべての為替リスクを親会社で吸収する場合、取引額は各国の帳簿通貨とは別の報告通貨で個別に変換することができます。これらの報告通貨を連結することで、GAAP の要件に合わせてレポートを実行することができます。

**ユーロへの移行** - SunSystems 5 では各取引データを現在の自国通貨と同時にユーロで保持することができます。この取引プロセスでは、為替変換は EU の規定にしたがって常にユーロを介して実行されます。またインフレ会計をサポートするため、履歴となっている価額を再評価額と共に保持することができます。

### 多通貨対応機能 - どのように実現しているのか?

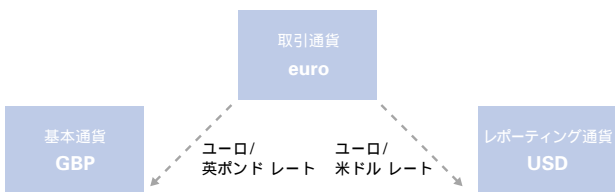
各取引のデータは最大 3 通貨でシステムに格納することができます。  
3 種類の通貨は次の通りです。



### 柔軟性に優れた為替変換機能

SunSystems 5 では、各勘定科目に使用したりリンクさせることが可能な通貨の数に制限はありません。各通貨は、ユーザー定義可能な為替レートを通じてリンクされます。この変換プロセスは、続く変換処理で各通貨間に差異が生じないように優れた柔軟性を有しています。

下図は GAAP 報告の例で、イギリスの子会社がアメリカの親会社へユーロで報告する際の取引通貨と基本通貨/報告通貨間の関係が定義されています。



また、他国との連結の場合は次のようになります。



すべての取引は、基本通貨、取引通貨、レポーティング通貨または第 2 基本通貨で管理することができます。すべての在庫移動に加え、品目原価もこれらの 3 通貨で保持することができます。したがって、3 つすべての通貨で在庫を在庫登録した場合も、実際の価額で保持することができます。

これら 3 つの値は物理的に記録されるので、どの通貨の組み合わせでもシンプルかつ迅速にレポーティングを行うことができます。

### データ ディクショナリ

SunSystems 5 のデータ ディクショナリは、すべての SunSystems 5 データ アイテムのメイン リポジトリとして機能すると同時に、入力時における自動言語変換のソースになります。またデータ ディクショナリには、各データ アイテムの仕様 (フィールドの最大長など) 以外にも、フォーム デザイン機能で使うことができる標準データ摘要テーブルも保持します。各摘要は該当する各言語で保持されるため、翻訳はデータ ディクショナリによって自動的に実行されます。

システム管理者向けにエディタが用意されているので、標準データ摘要の代替をビジネス ユニット別に定義することも可能です。システム管理者が定義した代替の摘要内容は標準の摘要に上書きされるのではなく別個に保持されるため、アップグレード時に失われることはありません。

また、開発パートナーがディクショナリ内の摘要、出力ラベル、データ アイテム長などを編集できるように、スペシャリスト向けのエディタも用意されています。



## グローバル ソリューション、ローカル サポート ...リアルタイムのコラボレーション


世界 180 ヶ国 18,000 社以上にご利用いただいている SunSystems は、分散処理の会計・販売・購買・在庫管理ソフトウェアに対するニーズをすべて満たした真のグローバル ソリューションです。SunSystems の開発元であるシステムズユニオンは、イギリスの研究・開発センターに 200 名を超える規模の技術者を置くことで、このユニークなアプリケーションが業界 No.1 の柔軟性と価値を提供することを可能にしています。またシステムズユニオンは 500 名の従業員を通じてお客様にサポートを提供していると共に、200 社を超える VAR（付加価値再販業者: Value Added Reseller）とのパートナーシップを通じて、世界各国におけるローカルでの導入、トレーニング、サポートのサービスを提供しています。

Systems、各種サービス、システムズユニオン、パートナー各社の詳細については、弊社 Web サイト <http://www.systemsunion.co.jp> をご覧いただくか、お近くの SunSystems オフィスまでお問合せください。

著作権等について  
Published by Systems Union Holdings Ltd.  
Copyright ©1982 - 2001 Systems Union Holdings Ltd.  
その他のすべての商標は、それぞれの企業が所有権を有しています。

本資料にはシステムズユニオンの技術的的方向性を示す記述も含まれていますが、本資料の内容は記述・口述を問わず、いかなる契約や協約の内容をも示すものではありません。またシステムズユニオンおよびその再販業者は、本資料の内容に基づいて行われるいかなる行動に対しても責任を負うものではありません。本資料の一部・全部を問わず、発行者による事前の書面による許可なく複製、読み出し可能なシステムへの格納、機械的記録方法、その他の記録方法を含め、いかなる形式や方法でも伝送することを禁じます。





## システムズユニオン株式会社

〒102-0075

東京都千代田区三番町6-26 住友不動産三番町ビル3F

Tel: 03-3264-9825

Fax: 03-3264-9070

<http://www.systemsunion.co.jp>

Copyright © 1982 – 2001 Systems Union Holdings Ltd

Systems Union House

1 Lakeside Road

Aerospace Centre

Farnborough

Hampshire GU14 6XP

United Kingdom

For regional offices, visit our web site:

[www.sunsystems.com](http://www.sunsystems.com)

SS0 511 001 J1105